

2025 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生（個人および団体）を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

【 団 体 】

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
韓国 STEM 国際学会ボランティア （日本語日本文学科・子ども教育学科・社会マネジメント学科・健康栄養学科）	韓国 STEM 国際学会にボランティアで参加し、開催された韓国において、積極的に異文化交流を行い、現地大学生と協力して学会運営を支援した。さらに英語による学会発表を行い、その内容と活動は現場で非常に高く評価された。その結果、2026 年度 STEM 国際学会への招待や相模女子大学生の発表枠提案という形で認められ、今後も継続的な活動につながることを期待されるものであり、大学の国際的評価に繋がった。
『Sagami チャレンジプログラム』プロジェクト団体 「復興支援学生ボランティア委員会」 （英語文化コミュニケーション学科・メディア情報学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科）	本活動は、2011 年 6 月の東日本大震災後、岩手県大船渡市での炊き出しボランティアを契機に発足し、当初は被災者の心のケアを中心に行われた。現在は「震災の記憶を後世に伝える」、「大船渡市の魅力を発信する」の 2 本柱で活動を展開している。 2025 年 2 月の林野火災後には、大船渡スイーツ販売や学内募金で支援を行い、義援金を大船渡市長に届け、防災学習や SNS 発信を利用し災害の状況を伝えた。また、市内菓匠とのコラボ商品を相生祭で販売、市内保育園や相模女子大学幼稚部で「椿の学校」という独自の教育プログラムを通じて、子どもたちに震災や、椿の魅力を伝えた。学生主体で継続される本活動は、大船渡市からも評価されており、地域活性化と防災意識の継承に大きく貢献している。
『Sagami チャレンジプログラム』プロジェクト団体 「もとみや SMILE プロジェクト」 （日本語日本文学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科）	福島県本宮市と協働し、本宮市民をもっと笑顔に、元気にしたい！という想いを持つ学生が集まったプロジェクトである。2024 年度より、地域農産物の魅力を活かした「野菜のなめろう」および「りんごドレッシング」の開発に取り組み、具材選定やレシピ、ラベル制作を学生主体で進めた。中間報告では市民の試食意見を反映し、改良を重ねて完成に至った。この商品は相生祭で販売され好評を得たほか、本宮市役所や直売所等での販売を通じて地域に貢献している。さらに、田植え・稲刈り体験や秋祭りへ参加することにより本宮の魅力を伝え、今年度、新設した「もとみや魅力発見ツアー」では本宮での生き方や働き方を体験・発信している。これらの活動は地域社会への貢献、本宮市の魅力を伝える意義深い活動である。
スーパー三和×相模女子大学 （生活デザイン学科・健康栄養学科）	学内の学科・学部を越えた交流を目的に、地元スーパー・株式会社三和と連携して産学連携プロジェクトに取り組んだ。今年度は「食」をテーマに、健康×デザインの視点から新たな提案を行った。地域ニーズや市場動向を調査し、企業と意見交換を重ねながら、生活デザイン学科はレシピカードやランチョンマットのデザイン、健康栄養学科は料理レシピの考案を担当した。考案内容は 2026 年 2 月 5 日～11 日にスーパー三和相模大野店で展示・配布や試食会を実施され、あわせて本プロジェクトの内容をまとめた冊子も作成した。
チアリーディング部 （日本語日本文学科・子ども教育学科・管理栄養学科）	少数精鋭ながら、高い競技力と組織力により優秀な成績を収めた（2025 年 6 月 関東大会 奨励賞）。また、他大学との合同練習・合同チーム編成にも積極的に取り組み、その高度なチーム運営により新たな競技活動の形を示した（2025 年 8 月 県大会出場：相模女子大学・相模女子大学高等部チアリーディング部 合同チーム、2025 年 12 月 全日本学生大会出場：東洋英和女子大学・駒澤大学・相模女子大学 合同チーム）。加えて、相生祭や地域イベントへの出演を通じて、競技チアリーディングの普及と本学の知名度向上に貢献した。

団体名 (所属学科)	表彰内容・理由
<p style="text-align: center;">中央執行委員会</p> <p>(子ども教育学科・社会マネジメント学科・健康栄養学科)</p>	<p>学生が安心して充実した大学生活を送れるよう、様々な企画運営や環境整備を行った。2025 年度は他学部・他学科の交流を目的に「ドッチビー大会」、地域との繋がりを大切にした「ランチフェス」、知識習得の機会として「ディズニーテーブルマナー講座」を 3 本柱として開催した。さらに、熱中症対策の無料ドリンク引換券の配布や「リーダーズキャンプ～ANA ブルーハンガーツアー～」、相生祭での 500 円チケット配布など、新しい試みも取り入れ、学内外の交流を広げた。さらに、「意見箱」の周知し、より多くの学生の意見が大学運営に反映される環境づくりの整備に努めた。</p>
<p style="text-align: center;">羽田ゼミナール 星チーム</p> <p>(英語文化コミュニケーション学科)</p>	<p>日本地域政策学会 2025 年度第 24 回全国研究【愛知・名古屋】大会の学生ポスターセッションにおいて、「三浦半島における訪日外国人観光客の増加施策について」をテーマに研究発表を行い、グループ部門で会長賞を受賞した。本研究では、三浦半島に訪日外国人を誘客するためには、対象国を絞ることが重要であることを他の事例から導き出し同地域の自然や食事といった観光素材がオーストラリアからの観光客にアピールすることが有効であると提言している。</p>